

高知のんびりドライブ紀行

宿毛佐伯フェリーの運航再開を記念して、この「コーナー」で高知県の観光情報を紹介してきました。
最終回となる今回は、実際に私（広報係秋元）が、高知県を旅行してきました。

五月三日の深夜三時、フェリーに乗って佐伯市を出発。揺られること三時間、早朝六時に宿毛市へ到着した。朝日を浴びて、国道五十六号を車で走る。まずは、大方町を目指す。目当ては「Tシャツアート展」。窓を開けると風が心地よい。一時間ほどで到着した。会場となっている砂浜美術館を訪れるのは、約二年ぶりだ。波打ち際で、Tシャツが風にひるがえる様は、

何とも涼しげ。

一足早い夏気分を満喫した後、再び車を走らせる。進路は東。途中、キラキラ光る太平洋の大海原を横目に見つつ、走ること約二時間、高知市へ到着。

車を降りて高知城へ。ちょうど「土佐時代絵巻〜一期間中〜」のお城は多くの人でにぎわっていた。人並みをかき分けしばらく歩いてみると、じんわり汗をか

いた。高知城追手門を抜け、高知市一の繁華街・帯屋町アークードへ。通りは若者があふれ、活気に満ちている。あちらこちらで飛び交う土佐弁が、耳に懐かしい。学生時代の思い出に浸りながら、



桂浜はおすすめです

ぶらぶら歩く。高知といえは「鰹のたたき」だ。「ひろめ市場」に寄ってさつそく注文。厚く切ったたたきに塩をふりかけ、にんにくとネギをのせ、ひとくちにほおぼる。臭みはなく、口いっぱい鯉の風味が広がった。高知の食を十分堪能したところで、時刻は午後二時を過ぎていた。街の喧噪をくぐり抜け、車を南へ走らせる。目指すは桂浜。高知市の中心部から車で約三分の高知を代表する観光スポット。太平洋をながめるように、坂本龍馬の銅像が建てられているのは、皆さんもご存じだろう。

この日の桂浜は、波が激しく打ち寄せ、今まで訪れたなかで一番迫力があつた。ある日、祖父が、母の携帯電話の留守番電話サービスへ、次の内容でメッセージを残しました。

編集後記

「どうもこんにちは。〇〇(母の名前に、用事があるので家に来るよう、その旨伝えてください。よろしく願います。）」

はて？何かおかしいところがありませんね。

どうやら祖父は、「留守番電話サービスです。メッセージを入れてください。」という女性のアナウンスを聞いて、サービスセンターが母へ伝言してくれるものと勘違いしてしまったようです。その結果が、先ほどのメッセージ。家族一同爆笑。愛すべき祖父の心温まるエピソードでした。

(秋元)

サイキッズ写真館



あやか 三浦綾夏ちゃん(2歳)

“補助付き自転車に乗れる様がない、散歩を楽しんでいます。”

“サイキッズ写真館” 子どもさんの写真を募集します！

小学生以下の子どもさんの写真に次のものを添えて送ってください。

- ・写っている人の名前(ふりがな)
 - ・生年月日
 - ・写真に添えるコメント
 - ・投稿者の住所・氏名・電話番号
- ※写真は返却できませんので、ご了承ください。

《送り先》
〒876-8585 佐伯市中村南町1-1
佐伯市役所秘書広聴課広報係
「サイキッズ写真館」行

ひとの動き (5月1日現在住民登録)

	前月比	※おわびと訂正
世帯	3万2,692世帯(+63)	5月1日号の世帯数に誤りがありました。おわびして訂正いたします。
人口	8万4,107人(-41)	(誤り)3万2,625世帯
男	3万8,972人(-28)	(正)3万2,629世帯
女	4万5,135人(-13)	

交通事故 4月中

人身事故	物損事故	死者	負傷者
20	78	0	21